

## 令和6年度 金融庁における行政事業レビュー優良事業改善事例

事業名	① 企業データ分析を通じた金融支援等実施経費	② 行政手続電子化推進調査費
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大規模かつ高粒度な企業財務データを購入し、法人向け貸出等に関するデータ（個別金融機関の保有する高粒度データを横断的に収集・蓄積する枠組みである「共同データプラットフォーム」の構築に向けた実証実験の取組等を通じて金融機関から収集）や、金融経済に関する他の外部データと併せて分析し、金融機関が抱えるリスクや金融仲介機能の発揮状況をきめ細やかに把握・評価し、金融機関へのモニタリング・対話を行い、金融機関による適切なリスク管理と企業支援を促すもの。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 金融機関のシステムに精通した専門スタッフを持つ調査会社を活用し、主要行及び地方銀行（全国地方銀行協会加盟行）を対象に、高粒度データを試行的に収集するための実証実験を実施し、当該実証実験を通じて、高粒度データの提出・管理プロセスに係る課題の特定、金融機関の負担軽減のための既存計表の代替可能性の検討、収集した高粒度データを活用した分析の試行等を実施するもの。</li> </ul>
改善点の概要及び選定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 過去の公開プロセス（令和3年度）における外部有識者からの指摘（事業①に関するもの）を踏まえて、事業の目的を明確化するとともに、分析手法の精緻化・高度化を図っており、今後もアウトプットの改善が見込まれ、アウトカムの達成に貢献すると考えられるため。</li> <li>➢ また、上記について、外部有識者による点検会合（令和6年度）において高い評価を得ているため。</li> </ul>	
選定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 庁内に優良事例の選定等を行うチーム（構成：行政事業レビュー担当（秘書課管理室）、政策評価担当（総合政策課））を立ち上げ、同チーム内での議論を行い事例選定し、当庁行政事業レビュー推進チーム統括責任者兼 EBPM 推進責任者（総括審議官）が決定したもの。</li> </ul>	
横展開の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 庁内幹部会において優良事例を紹介・共有するとともに、各幹部に対し、所管事業に係る点検・見直しへの積極的な関与、検討を要請する。</li> </ul>	